

第4学年 特別の教科 道徳 学習指導案

第4学年2組

- 1 主題名 みんなのために働く C 勤労、公共の精神
- 2 教材名 「神戸のふっこうは、ぼくらの手で」 (出典：光村図書「どうとく」)
- 3 本時

(1) ねらい

阪神淡路大震災のとき、避難所でできることにすすんで取り組んだ「ぼく」たちの姿などを通して、みんなのために働くことの大切さについて考えさせ、集団の一員としてできることを見つけ、実行しようとする心情を育てる。

(2) 展開

	主な学習活動 ○発問 ・予想される児童の反応	○指導上の留意点 ☆評価
導入	(1) 自分の生活を振り返り、主題の内容について考える。 ○誰かのために一生懸命働いたことがありますか。	○児童が想像しやすいように係活動や当番活動、家庭での手伝いなど具体的な例を挙げながら発問する。
展開前段	(2) 教材を読み、「ぼく」の思いを考える。 ○次々と大山先生を手伝う大人たちを見た「ぼく」は、どんなことを思ったでしょう。 ・自分もなにかしなきゃ。 ・大人たちはすごい。 ○「ぼく」はどんな思いで熊の絵がかいてある本を探したのでしょう。 ・自分にもできることを見つけた。 ・女の子に喜んでほしい。	○物語の内容について、挿絵を見せながら確認する。
展開後段	(3) 自分の生活を振り返り、主題の内容について再度考える。 ○みんなのために働くことはなぜ大切なのでしょうか。 ・みんなに喜んでもらえる。 ・人の役に立てる。 ・気持ちよく生活できる。	○個人で考えた後、近くの席の人と交流し、考えを伝え合う。 ☆みんなのために働くことの大切さについて考えている。
終末	(4) 自分のこれからの生活に結び付けながら、授業の内容を振り返る。	○Google classroomを用いて行う。